

熊本空港特定運営事業等

# 2021年度 事業計画

熊本国際空港株式会社



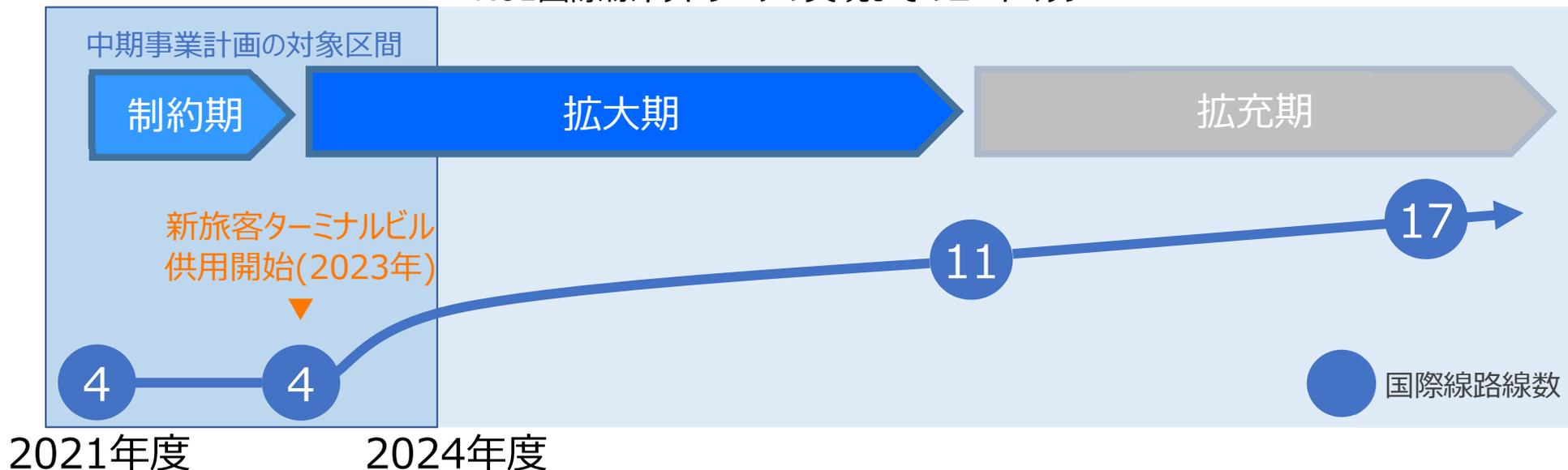
# 2021年度の方針

当初の事業期間終了時  
(2051年度)  
におけるビジョン

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ  
地方空港※No.1の国際線ネットワーク

※羽田、成田、関西国際、福岡、新千歳、那覇、伊丹、中部を除く空港

No1国際線ネットワークの実現までのロードマップ



## 2021年度の方針

- ・安全・安心を最優先とする、円滑な空港運営業務の実施
- ・コロナ禍からの回復への対応と新旅客ターミナルビル(新ビル施設)工事の着実な推進

目標値

国内線  
旅客数

203万人

国際線  
旅客数

5万人

貨物量

1.1万t

運営権施設の投資総額

16.3億円

◆構内道路・立体駐車場整備 等

非運営権施設の投資総額

15.7億円

◆新ターミナルビル整備 等

# 基本方針と2021年度の具体的施策

## ビジョン実現のための 5つの基本方針

## 2021年度の具体的施策



世界水準の  
空港体験の提供

- 安全・安心を前提とした新ビル施設工事の着実な推進
  - ✓ 随時安全施工管理状況を把握するとともに、各種施工品質管理ツールを活用し、コスト・スケジュール・品質の管理を着実に実施
- 新ビル施設の供用開始へ向けた準備
  - ✓ テナント、免税店等の出店計画を推進



東アジア路線の  
戦略的誘致

- 新規路線の就航に向けた取組みの推進
  - ✓ 中国マーケットに直接訴求するプロモーション（SNS・旅行商品造成等）を関係機関と共同で実施



二次交通の  
拡大・拡充

- コロナ後を見据えた路線誘致と観光振興の実施



地域との連携強化  
による需要創造

- 地域との顔の見える関係構築
  - ✓ 地域と連携したスモールミーティングや各種催事の実施
- 地域企業との連携強化による航空需要喚起



空港全体の  
レジリエンスの確保

- A2-BCPの実行性の確保
  - ✓ 関係機関との共同訓練の実施、防災体制の構築
- 空港基本施設等の適切な維持管理